

千代田界隈のレトロな風景



じいちゃん、ばあちゃんたち待ってるかな

毎月デイへやって来る二葉園のこどもたち。
今日は何して遊ぼかな？

みどりの風



2016.12.1

-NO.219-

人・ひと日記

小林 功

夏から冬への季節の変化が今年は特に早いと感じました。晩酌もビールから焼酎のお湯割りに完全移行しました。私の焼酎歴は四十年ほどで、焼酎はまだまだマイナーな時代で若い者が酒店で注文すると怪訝な顔で対応されたような時代がありました。スタートは大分の麦焼酎でした。名古屋の職場で流行りだし、大分へ出張すると一升瓶の木箱入りを十本単位で注文して帰り、皆で分けるようなことをやっていました。焼酎ブームが起りそんなことしなくても全国の名酒がどこでも手に入るようになりました。麦から蕎麦、芋、黒糖、泡盛へ。メーカーもいろいろありますが最終的には泡盛の古酒が一番かなと思っています。とにかく種類がたくさんありますが共通していることが一つあることに気が付きました。原料にタイ米が使われていることです。焼酎独特のコクと香りをもたらすにはタイ米が不可欠だということです。コスト面でもタイ米が安く、安全面でもタイの稲作での農薬の使用量が少なく抑えられている。等、国産米の出番はないようです。焼酎はアルコール度の高い古酒を生で飲むのが一番おいしいと思いますが、これでは晩酌道から外れてしまうので適度な湯割りでゆっくりゆったりと楽しんでいこうと思います。

福島原発事故から一家で自主避難し、横浜の小学校へ転校した少年が二年生の時からいじめられ不登校となった。中学生になった今、偏見や暴力による孤立、自殺まで考えた苦悩や、教師や学校が対応してくれなかったことを訴える手記が公表されたニュースがありました。放射能の「ばい菌」で蔑まれ、五年生の時には、原発の「賠償金」があるだろうと多額の持ち出しを強要されたという。第三者委員会の調査報告では学校や教育委員会の対応の鈍さを厳しく批判していましたが、弱い者に対していじめ、暴力を繰り返す子供たちの精神や意識がどこから生まれて来たのかを考える必要があると思う。大人が作り出している社会の歪みが投影されているのだと思います。

発行 社会福祉法人 悠朋会

相模原市中央区千代田2-4-1

千代田デイサービスセンター

042-751-0672

ヘルパーステーション千代田

042-704-0261

千代田介護支援センター

042-704-0281

千代田相談支援センター

042-707-1434

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com



近所の農協で今年もJA祭りが行われ、リハビリ目的で歩いていきました。スペース游でも絵画の作品展が行われていたので見に出かけました。なかなか外出する機会が減っているので皆さん良い刺激になったようです。

振り込め詐欺にあわないために Mr.T.K



マジックショーでおなじみのMr. T. K. 今回は特別に振り込め詐欺にあわないための講演を行っていただきました。市内で啓発活動を行っており、広報などでも紹介されています。その後はいつものマジックで楽しませてくれました。

振り込め詐欺にあわないためにも、普段から家族とは連絡を取り合っておくといいですね。

市民交流スペースのご案内

11月の展示内容 「墨とクロスステッチ展」 西崎明美



11月は西崎明美さんの「墨とクロスステッチ展」を開催しました。個性的で見事な書と根気よく仕上げたクロスステッチの素敵な作品ばかりでした。



12月の予定
三角パーツ作品展
飯泉 稔





今回のおやつ作りは、餃子の皮を使ったピザ作りを初めて行いました。ピザソース味、和風味、りんご味の三種類で、自分で作ったものとはとっても美味しく、みなさんペロリと平らげていました。



餃子はたまにメニューに出ますが、今回は職員がひとつひとつ包んで作ってみました。あつあつの出来立ては美味しかったです。

12月の予定

交流会	1日(木)、2日(金)
キーボードボラ	4日(日)
体重測定	5日(月)～11日(日)
クラフトボラ	8日(木)
津軽民謡	10日(土)
寿司ビュッフェ	11日(日)
シナプソロジー	11日(日)、29日(木)
書道	12日(月)、15日(木)
折り紙	15日(木)
ゆず湯	15日(木)～21日(水)
誕生会	15日(木)～21日(水)
忘年会	22日(木)～28日(水)



相模原・町田介護医療圏 コンソーシアム大会

11月12日に開催されました「相模原・町田介護医療圏 コンソーシアム大会」に参加しましたのでその概要や様子などをお知らせしたいと思います。

このコンソーシアムでは次のような主旨から活動を進めています。相模原や町田は都心から比較的近いこともあり、団塊の世代の方たちが夢のマイホームを作られた地域です。また当時の都市計画から団地も作られてきました。いずれも、戦中、終戦直後に生まれた方々が夢を持って自宅を持ち、子育てをした地域でもあります。それから50年が経ち、日本で最も高齢者数の多い地域になっています。その間近に迫った超高齢者社会に誰もが必要な介護と医療が受けられる体制作りを目指した仕組み作りをするため、地域の医療機関や介護の関係者が議論を進めてきているものです。



2016/11/12

月一回開催される講習会・研修会などへ私たちも参加しながら学ぶと共に、他業種や他の事業所の方たちとの意見交換などをしてきています。

それらの活動のひと区切りとして初めての大会が開催されました。ヘルパーステーション千代田からも参加して「訪問介護の取り組み」についてプレゼンテーションさせていただきました。

大会のテーマは「自分らしく生きる 自分らしく支える」です。介護に携わる私たちにとっても意味深いテーマです。大会は、大会長の広瀬病院 院長 廣瀬憲一氏 コンソーシアム代表のみその生活支援クリニック院長 小野沢滋氏から、情報交換と交流を深めていく為に堅苦しい学会とは違い地域に根ざした交流会です、などのお話から始まりました。



2016/11/12

編集後記

そろそろ年賀状やお年玉、新年の過ごし方を考える季節です。その前にクリスマスパーティーもありますね。忙しい時期ですが、食べ過ぎても飲み過ぎないように心がけようと思います。健康診断で肝機能について指摘を受けました。あまり気にせず生きて行こうと思います。正月にはお餅に付けるのはマヨネーズ醤油です。美味しいのでぜひお試しください。H

基調講演として、愛媛県松山市で在宅療養支援診療所を運営される永井康徳院長の講話が有りました。その中で次の様にお話されています。

患者様が、ひとりの人として、今までどう生きてきて、これからどう生きていのかを患者様が元気な頃から、日々の暮らしを通して知ること。そして、もうコミュニケーションが取れなくなった場合でも、その人たちの人生観や価値観を知っていれば、重大な意思決定の支援において、大きな判断材料になると思います。亡くなるまで最期まで自分らしく生きる。そのために、どのような意識改革が必要なのか、一緒に考えてみたいと思います。まさに大会のテーマに沿った内容のお話しでとても参考になりました。

私たちは訪問介護の取り組みについてお話しさせていただきました。大会の事務局からは千代田をアピールする気持ちでいつもの調子でお話しして下さいと言われていましたが、実際に100人を超える人たちの前で話すのはとても緊張します。大会前に練習していて本当に良かったと思いました。

内容は、被災地(熊本)での貴重な経験、医療とヘルパーの関わりの変化、人材確保とその育成、放課後児童健全育成事業についてプレゼンテーションさせていただきました。終わってから何人かの方からとても良い内容の発表でしたよ、とコメントいただきました。ヘルパーステーション千代田の常日頃の活動がその様なコメントにつながったことと思います。

これからも私たちは今回のテーマ「自分らしく生きる 自分らしく支える」に沿える様に、介護と医療の一層の連携を図りながら日々の振り返り、学習に努めていきたいと思いを新たにしました。